

文京区水害ハザードマップ

水害ハザードマップについて

この地図は、東京都の作成した浸水予想区域図を基に、河川の氾濫及び下水道の溢水により浸水が想定される区域及び浸水深を示すとともに、各地域の避難所を明示し、区民の皆さんの避難などに役立てるために作成したものです。

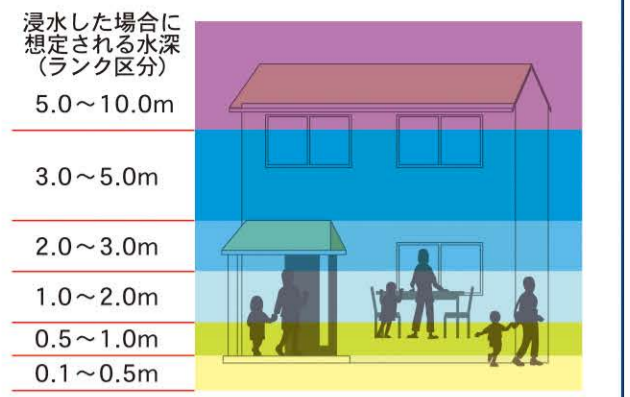
浸水被害が予想される区域及びその程度は、想定しうる最大規模の降雨(24時間総雨量690mm・時間最大雨量153mm)を基にシミュレーションを行っています。雨の降り方、土地の形態の変化、河川・下水道の整備状況等により変わることもあります。したがって、大雨が降ると、常にこの地図のような浸水被害が発生するということではありませんが十分に注意願います。

また、大雨の際には、区から避難指示等の避難情報が発令される場合がありますので、各種気象情報や避難情報には十分に注意ください。

いざというときに備えて、ご自宅から避難所までの避難経路、マンホールや側溝など危険な箇所などはあらかじめ確認いただけますようお願いいたします。

令和3年9月 文京区

- ### 凡例
- 水害時の避難所
 - 避難所入口
 - 区役所・地域活動センター
 - 消防署・消防署出張所
 - 警察署・交番
 - 区境
 - 町丁目界
 - 神田川の外水氾濫区域
(標高:6.8m) 標高値



「神田川の外水氾濫区域」について

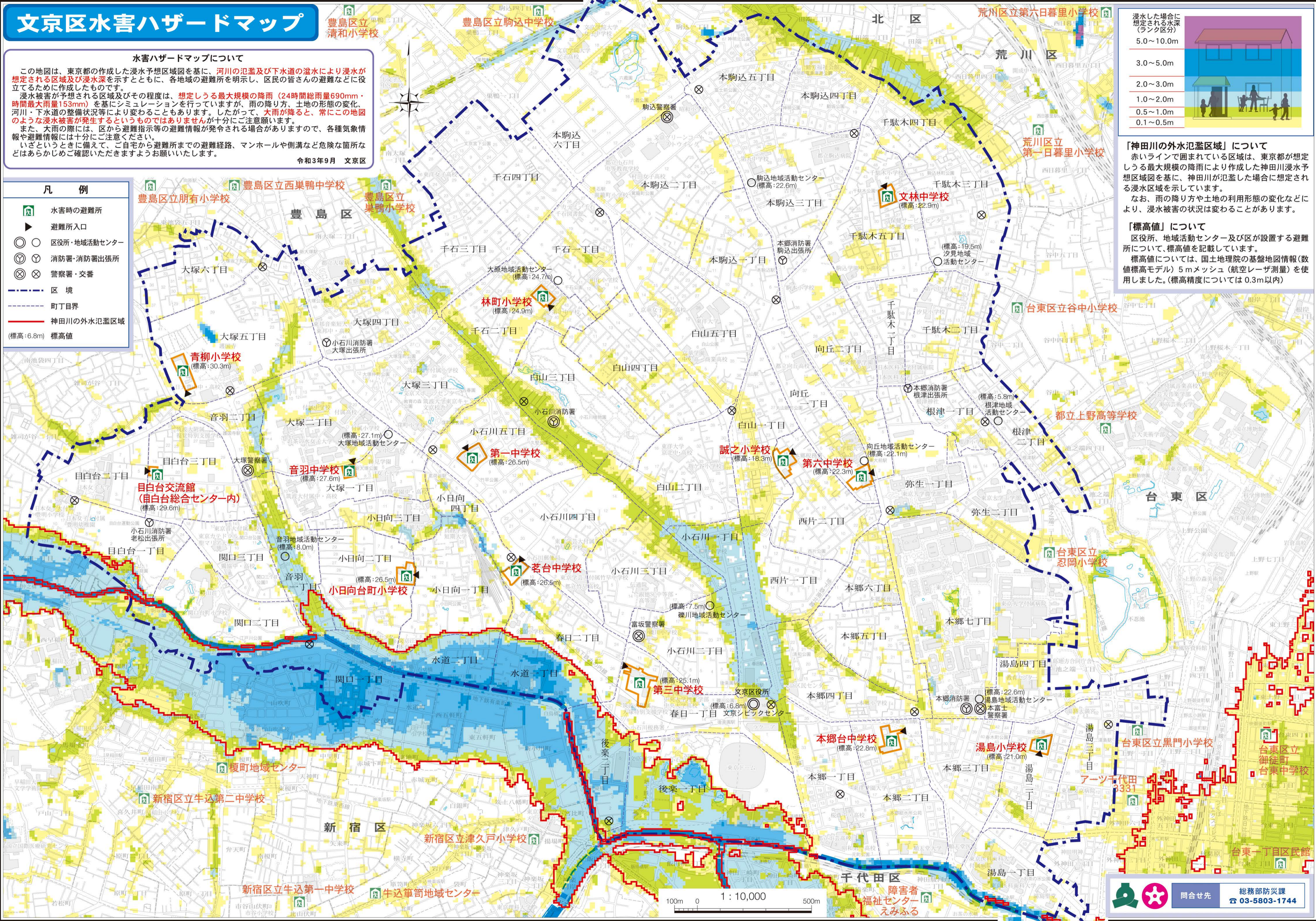
赤いラインで囲われている区域は、東京都が想定しうる最大規模の降雨により作成した神田川浸水予想区域図を基に、神田川が氾濫した場合に想定される浸水区域を示しています。

なお、雨の降り方や土地の利用形態の変化などにより、浸水被害の状況は変わることがあります。

「標高値」について

区役所、地域活動センター及び区が設置する避難所について、標高値を記載しています。

標高値については、国土地理院の基盤地図情報(数値標高モデル)5mメッシュ(航空レーザ測量)を使用しました。(標高精度については0.3m以内)



問合せ先 総務部防災課 ☎ 03-5803-1744

水害に備えて

台風

台風とは、北西太平洋または南シナ海に発生した熱帯低気圧のうち、低気圧域内の最大風速(10分間平均)がおよそ17m/s以上のものをいいます。大きさは「強風域(風速15m/s以上の強い風が吹いているか、地形の影響などがない場合に吹く可能性のある範囲)」の半径で、強さは「最大風速」で表されています。

(台風の大きさと階級分け)

階級	風速15m/s以上の半径
大型(大きい)	500km以上～800km未満
超大型(非常に大きい)	800km以上

(気象庁による)

(台風の強さと階級分け)

階級	最大風速
強い	33m/s以上～44m/s未満
非常に強い	44m/s以上～54m/s未満
猛烈な	54m/s以上

(気象庁による)

集中豪雨

集中豪雨は、狭い範囲に大量の雨が降る現象です。中小河川の氾濫や土砂災害による被害が予想されます。

(雨の強さと降り方)

1時間雨量(mm)	雨の降り方
10以上～20未満	ザーザーと降る。雨の音で話し声が良く聞き取れない。
20以上～30未満	どしゃ降り。傘をさしていてもぬれる。側溝や下水、小さな川があふれる。
30以上～50未満	バケツをひっくり返したように降る。道路が川のようになる。
50以上～80未満	滝のように降る。傘は全く役に立たなくなる。車の運転は危険。
80以上～	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる。雨による大規模な災害の発生するおそれ強く、厳重な警戒が必要。

(気象庁による)

避難情報と具体的な行動内容

災害対策基本法の一部改正に伴い、令和3年5月20日から水害・土砂災害のおそれがあるときに、区が発令する警戒レベルを用いた避難情報の名称が変更になりました。

警戒レベル	区・気象庁からの避難・気象情報	とるべき行動	区が発令する警戒レベル
警戒レベル5	緊急安全確保 ※1	命の危険 直ちに安全確保!	区が発令する警戒レベル
警戒レベル4	避難指示 ※2	危険な場所から 全員避難	区が発令する警戒レベル
警戒レベル3	高齢者等避難 ※3	危険な場所から 高齢者等は避難	区が発令する警戒レベル
警戒レベル2	大雨・洪水・高潮注意情報	自らの避難行動を確認する	区が発令する警戒レベル
警戒レベル1	早期注意情報	災害への心構えを高める	区が発令する警戒レベル

※1 自治体が災害の状況を確実に把握できるものではないなどの理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。
 ※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになりました。
 ※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じて普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をし、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

避難時の心得

区から避難指示等があった場合には、水害時・土砂災害時の避難所に立ち退き避難しましょう。なお、避難所への避難が困難な場合、または、雨の降り方や浸水状況により身の危険を感じた場合には、近くの頑丈な2階建て以上の建物へ自主的に避難するか、家の中でより安全な場所(崖から離れた部屋や2階など)に避難しましょう。

●正確な情報収集

テレビ、ラジオ、インターネットなどで最新の気象情報、避難情報等を収集し、雨の状況や浸水の状況に注意してください。危険を感じたら自主的に避難しましょう。

●車での避難は控えて

自動車での避難は緊急車両の妨げになります。また、交通渋滞を招き、浸水するおそれがあるため、特別な場合を除きやめましょう。

●動きやすい服装、二人以上での避難

動きやすい服装(カッパやスニーカー等)で、浸水部分の深さが確認できる杖や棒を持って歩きましょう。浸水時に歩行可能な水位の目安はひざ下までです。また、隣人等と声を掛け合って、二人以上で避難しましょう。

●要配慮者の避難にご協力

高齢者・障害者等の要配慮者は早めの避難が必要です。要配慮者の近所にお住まいの方は避難にご協力ください。

都市型水害

都市型水害とは、舗装に覆われた都市部で起こる水害で、集中豪雨などで河川や下水の排水処理能力を超える雨が降ると、水が低い場所に集まり短時間のうちに浸水が起こることをいいます。

注意報・警報発表基準

注意報	大雨	表面雨量指数*1	12
	洪水	流域雨量指数*2	22.1
	強風	平均風速	13m/s
警報	大雨	表面雨量指数	18
	洪水	流域雨量指数	—
	暴風	平均風速	25m/s

*1 地面の被覆状況や地質、地形勾配などを考慮して、降った雨が地表面にどれだけ溜まっているかを数値化したもの。

*2 河川の上流域に降った雨水が地表面や地中を通して河川に流れ出し、河川に沿って流れ下る量を数値化したもの。

各指標の詳細については、気象庁ホームページをご覧ください。
(気象庁による)

特別警報発表基準

警報の発表基準をはるかに超える豪雨や大津波等が予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合に気象庁が「特別警報」を発表し、最大限の警戒を呼びかけます。

大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合
暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により暴風が吹くと予想される場合

※表中の数十年に一度の現象に相当する降水量の指標は気象庁ホームページで公表しています。
(気象庁による)

防災情報・気象情報を入手する方法

区内の降雨量および神田川の水位を観測し、以下のホームページ内で最新の雨量、水位情報、気象情報等を提供しています。

- 文京区水防災監視システムホームページ(神田川水位情報等)
http://bousaiweb.city.bunkyo.lg.jp/mizubousai/
- 文京区防災気象情報発信サイト
https://bunkyo-city.bosai.info/
- 気象庁ホームページ
https://www.jma.go.jp/jma/index.html
- 東京アメッシュ(東京都下水道局: 降雨レーダー)
https://tokyo-ame.jwa.or.jp/

区民の皆さん

- 文京区民チャンネル(CATV) 文京区民チャンネルにおいて、災害情報をお知らせします。 ※11チャンネルで見られます(ケーブルテレビ加入者)
- 文京区公式ホームページ URL: https://www.city.bunkyo.lg.jp
- 緊急速報メール(エリアメール) 携帯電話事業者のNTTドコモ、au、SoftBank、Ymobile、楽天モバイルと協力し、区のエリア内の該当携帯電話に対して、災害情報を配信します。
- 防災行政無線屋外スピーカー 災害情報を音声やサイレンでお知らせします。24時間以内に放送した内容は「電話応答システム」(☎0180-993-997)で確認できます。
- Yahoo! 防災速報 ヤフー株式会社と協力し、スマートフォンのアプリを通じて災害情報を配信します。
- iPhone版 Android版
- 防災情報一斉通知アプリ 屋内にいても防災行政無線の放送内容や区からのお知らせが受信できるアプリです。
- 「文の京」安心・防災メール 登録者に文京区内の災害情報などをお知らせします。下記URLまたは二次元コードにアクセスして登録してください。 http://bunkyo.city.bosaiinfo.jp/bosaimail/index.html
- App Store (iPhone用) の方はこちら
- Google Play (Android用) の方はこちら

水害時・土砂災害時の避難所一覧

※ 地震時の避難所とは異なる場合がありますので注意してください。
 ※ 区外の避難所(緊急避難所)には、「特別区災害時相互協力および相互支援に関する協定」に基づき避難が可能です。

	避難所名	所在地	電話番号
1	林町小学校	千石2丁目36番3号	03-3946-0421
2	青柳小学校	大塚5丁目40番18号	03-3947-2471
3	小日向台町小学校	小日向2丁目3番8号	03-3947-2371
4	湯島小学校	湯島2丁目28番14号	03-3813-6061
5	誠之小学校	西片2丁目14番6号	03-3811-7171
6	第一中学校	小石川5丁目8番9号	03-3811-7271
7	第三中学校	春日1丁目9番31号	03-3814-2544
8	第六中学校	向丘1丁目2番2号	03-3814-6666
9	文林中学校	千駄木5丁目25番10号	03-3827-7671
10	茗台中学校	春日2丁目9番5号	03-3811-2969
11	本郷台中学校	本郷2丁目38番23号	03-3811-2571
12	音羽中学校	大塚1丁目9番24号	03-3947-2771
13	目白台交流館(目白台総合センター内)	目白台3丁目18番7号	03-5395-9141

※ 関口一丁目地区の各町会は、大雨等により神田川を越えて避難所へ行くことが難しい場合、新宿区復興地域センター、新宿区立牛込第一中学校、新宿区立牛込第二中学校に避難することができます。

●垂直避難場所

垂直避難場所とは、風水害時において、指定された避難所への避難が困難な場合、または雨の降り方や浸水状況により身の危険を感じた場合の緊急的な避難場所のことです。

※垂直避難場所一覧は、区ホームページをご確認ください。

日頃からの水害対策

自宅周りの確認事項

台風や豪雨の到来は予測できるからと安易に考えてはいけません。油断せず日頃から十分な対策を立てておきましょう。



日頃からの備え

●安全な避難路の確認

避難所までの経路(避難路)は、あらかじめ自分たちで決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。

●非常持ち出し品の事前準備

ラジオ、懐中電灯、食糧、飲料水などは事前に用意し、避難するときに持参しましょう。

●正確な情報収集

テレビ、ラジオ、インターネット、「文の京」安心・防災メール等からの水防情報、気象情報に十分注意しましょう。

地下施設への浸水に備える

日頃から排水設備(ポンプ)の点検や、土のう、止水板を準備しておきましょう。また、あらかじめ土のうを用意したい方には貸与します。なお、区内各所に土のう置場を設置していますので、緊急の場合はご自由にご利用ください。

https://www.city.bunkyo.lg.jp/bosai/doro/jigyos/shinsui.html

問合せ先 土木部道路課 ☎03-5803-1250

